

# ① 企業立地の推進

隣県、大都市へのアクセス向上により

安定した物流ルートの構築



企業立地の促進、  
市場拡大、  
雇用拡大につながる

<奥越地域の特産品・工業製品の主な流通ルート(現時点)>

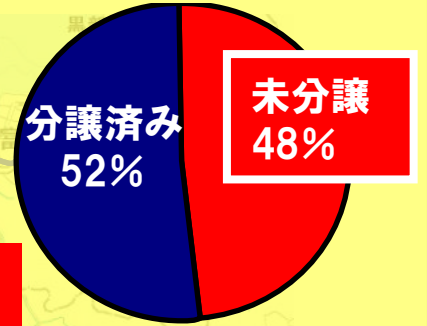
特産物	出荷先	量	ルート
米	関西・福井	780万 t	R158号 ・北陸道
まいたけ	県外市場	75t	

企業名	出荷先	製品	ルート
(株)フクタカ (勝山市)	豊田市 (名古屋)	自動車部品	R158号 ・北陸道
ニチコン (大野市)	関西方面	電子部品等	

<県内地域別産業用地分譲率>

- 福井坂井 : 94%
- 丹南 : 89%
- 嶺南 : 85%
- 奥越 : 52%

奥越地域



大野市では、中部縦貫道の未整備を理由に企業立地を断念したケースが5件発生



# ② 広域観光の実現

## 観光客の誘致促進・増加

隣県、大都市へのアクセス向上により、

- ・新たな周遊観光ルートの構築
- ・隣県との連携強化



中京・関東方面からの観光客の増加が見込まれる



さまざまな観光周遊ルートを構築



### 本県への観光客動向

【本県観光で改善すべき点ベスト3】※1

1	アクセス整備	15.9%
2	案内板・標識	13.1%
3	主要な観光施設・観光地	12.4%

【観光入込客の交通手段】※2

1	自家用車	75.0%
2	貸切バス等	11.8%
3	鉄道	10.0%
4	航空機	2.0%
5	その他	2.2%

※1 福井県の観光に関する事業者アンケート調査結果H20

※2 H16福井県観光動態調査

# ④命の格差解消

## 救急医療機関へのアクセス向上

第三次救急医療施設  
福井県立病院



勝山市～県立病院まで

現況	約38分	※1
▼		
整備後	約25分	13分短縮

大野市～県立病院まで

現況	約38分	※2
▼		
整備後	約30分	8分短縮

旧和泉村～県立病院まで

現況	約67分	※3
▼		
整備後	約39分	28分短縮

※1: 国土交通省資料  
 ※2: 国土交通省資料  
 ※3: 福井県土木部試算

# ⑤ 災害から国民を守る

通行止めが頻発する北陸道のリ  
ダンダンシーを確保する路線と  
しての機能

中部圏・近畿圏において  
大規模地震が発生した場合、東  
西日本を結ぶネットワークを提  
供



平成18年豪雪では、北陸道  
が約14時間寸断

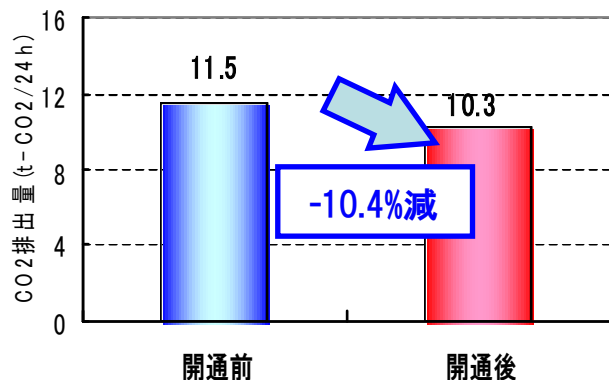


中部圏・近畿圏において直下型地震が発生した場合、震度6強以上の震度分布範囲(中央防災会議  
資料H20.5.14より) 中部圏： 猿投-高浜断層帯 近畿圏： 上町断層帯

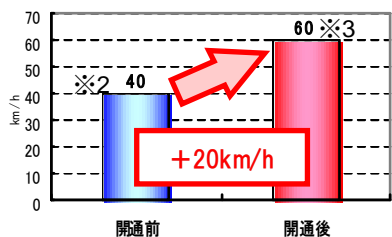
# ⑦ 渋滞解消・地球温暖化対策

全体旅行速度が40km/h → 60km/h に上昇することで、全体のCO2排出量が約10.4%減少し、地球温暖化対策に貢献

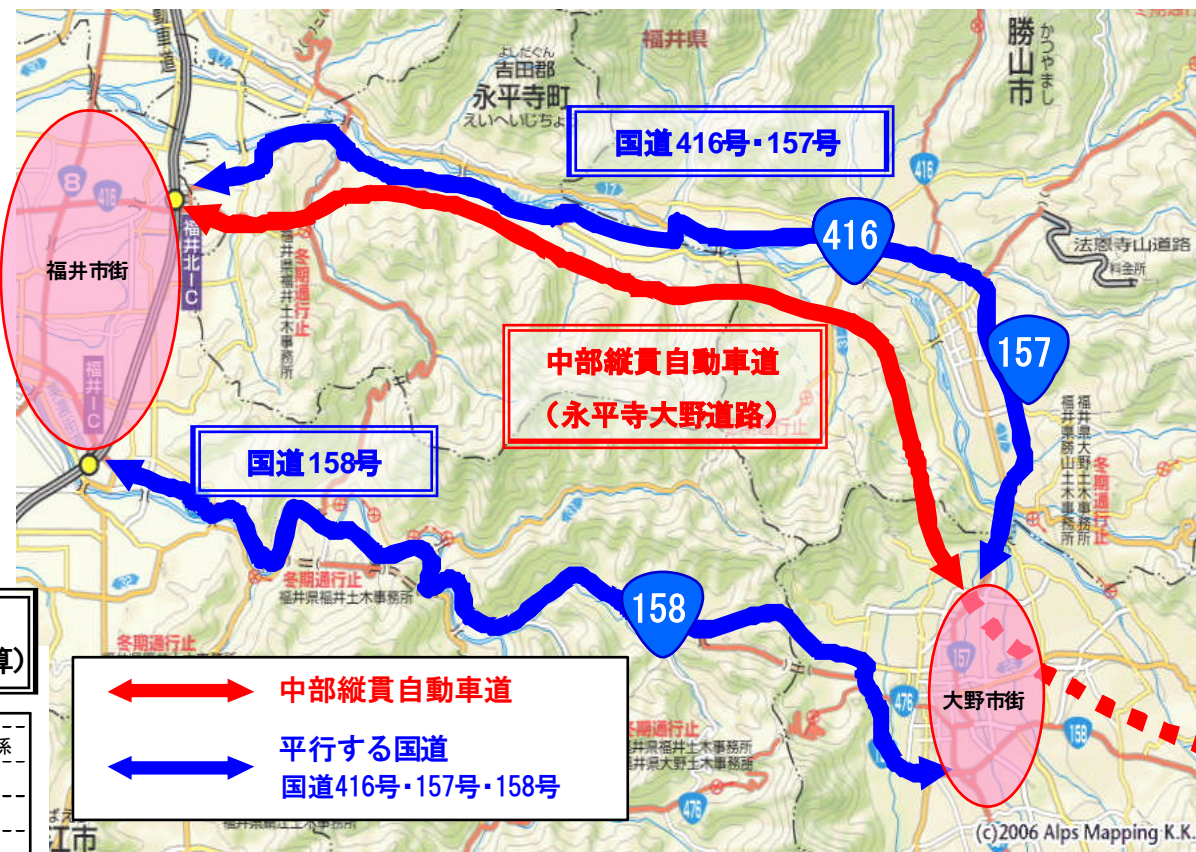
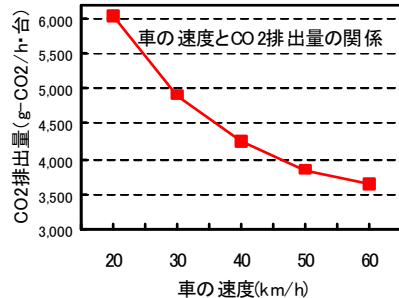
中部縦貫自動車道開通後のCO2排出量の変化（試算）※1



中部縦貫自動車道開通後の旅行速度の変化（試算）



乗用車の旅行速度とCO2排出量の関係（試算）



↔ 中部縦貫自動車道  
↔ 平行する国道  
 国道416号・157号・158号

※1 現道(国道416・157号、158号)の平均交通量を24,000台/24hと設定し、中部縦貫自動車道への交通量の転換率70%と仮定。

※2 旅行速度調査(H18)から現道(国道416・157号、158号)の平均速度40km/hと設定。

※3 暫定2車線供用の対面交通のため、法定速度である60km/hと仮定。